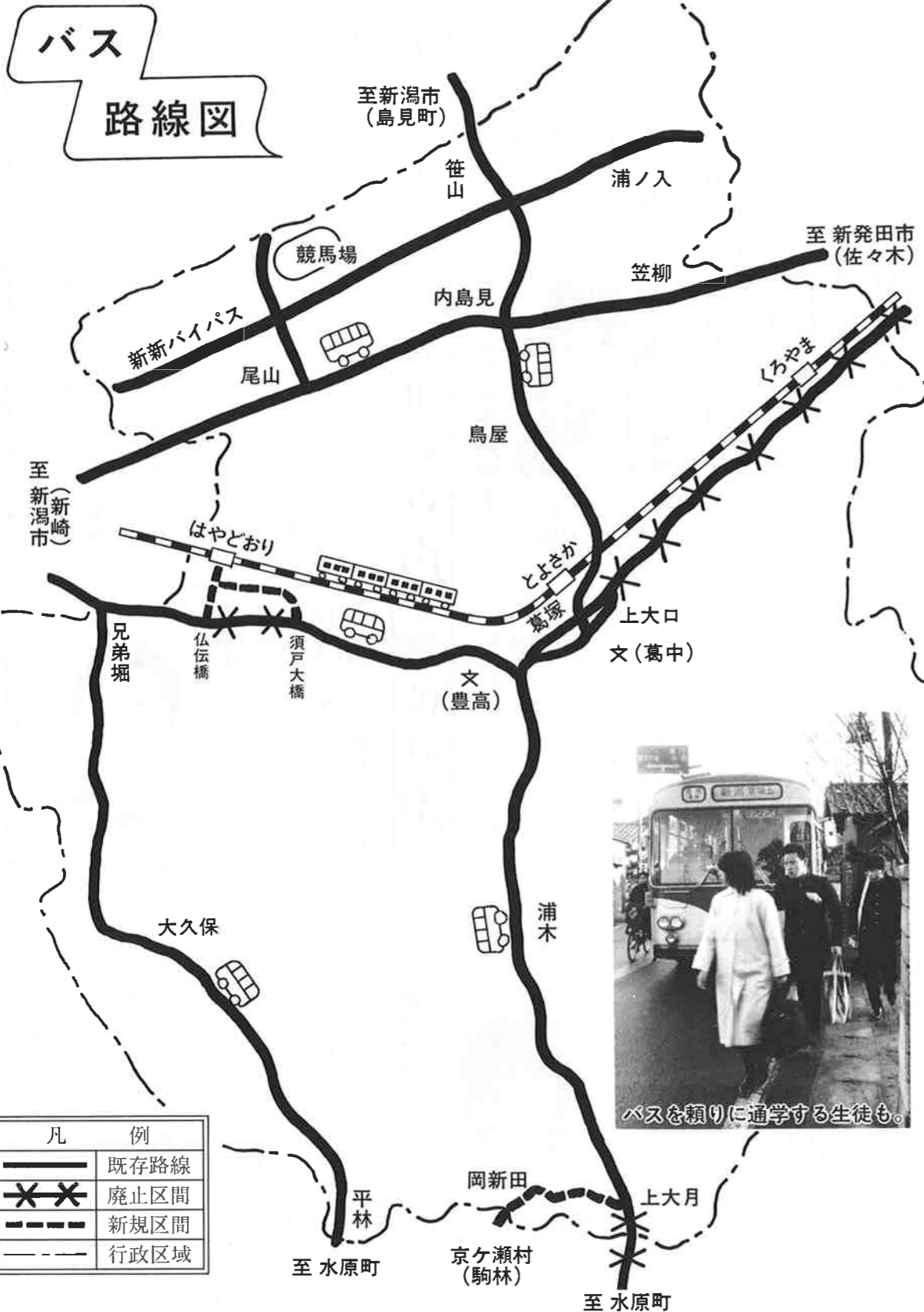


# 私たちの足を



# 奪わないうで!

## バス路線の廃止・変更問題

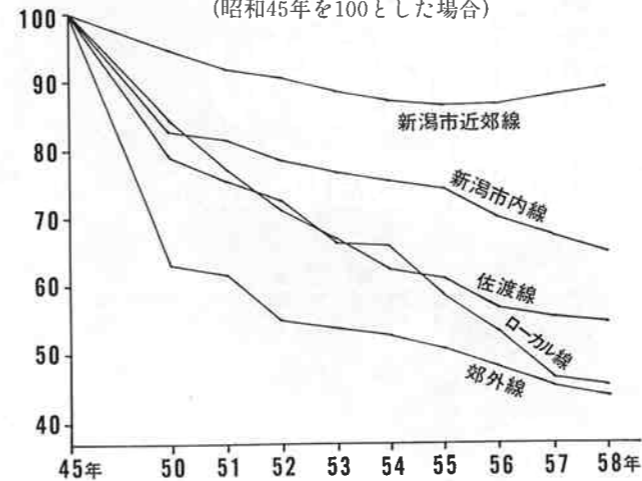


新潟交通(株)は、バス利用者が年々減り経営状態が悪化しているため、バス路線を大幅に廃止・変更する計画をたて、来年四月から実施する方針を打ち出しました。これが実施されると、葛塚と新発田間、岡方と新潟間の直通バスは無くなります。バスは地域住民の足となっているだけに、いろいろな面で市民生活に影響を及ぼすことが予想されます。そこで今号は、この問題を取り上げ特集しました。

路線別の営業系数 (昭和58年度)

路線名	1日の運行回数	営業系数 (100円の収入を得るための経費)
①新 潟～葛塚～新発田	21.5回	149
②新 潟～岡方～水 原	8	121
③水 原～葛塚～島見町	6	191
④水 原～葛塚～太郎代	3	354
⑤新潟駅～新崎～競馬場	5	98

バス利用者の変化 (昭和45年を100とした場合)



## 路線の再編計画

- 豊栄市内の主な計画内容は次のようになっています。
- ① 新潟～葛塚～新発田線は新潟～仏伝橋～早通駅～須戸大橋～豊栄駅とする。従って上大口～佐々木間はすべて廃止される。
  - ② 新潟～岡方～水原線は水原～兄弟堀～仏伝橋～早通駅～須戸大橋～豊栄駅とする。従って、水原～新潟間の直通バスは廃止される。
  - ③ 水原～葛塚～島見町線は島見町～内島見～豊栄駅とする。従って、水原～島見町間の直通バスは廃止される。
  - ④ 水原～葛塚～太郎代線は水原～駒林～上大月～豊栄駅とする。従って、水原～太郎代間の直通バスは廃止される。